

徳性寺
慶長年間に建立された浄土宗の寺院。本堂内の仏像や、欄間に描かれた鮮やかな彩色の絵図は見事です。

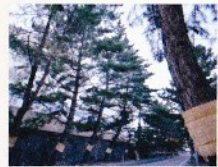
「藤川宿」史跡めぐり

東海道五十三次37番目の宿場町

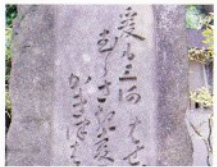
「藤川宿」は品川から数えて37番目の宿場で町並みは9町20間(約1km)ありました。1608年(慶長6年)に藤川に伝馬朱印状が発給されて藤川宿が成立しましたが、発足当時の藤川宿は小さく、1648年(慶安元年)に隣の市場村の68戸を移住させて、宿場の形が整いました。今も残る史跡から、往時の名残を感じてみてください。
◎コース全長…約2300m



奇岩「駒の爪」
高さ1.2m、幅1mほどの馬蹄のような珍しい形をした岩。このあたりの字名の由来にもなっています。



藤川の松並木
約1kmの間にクロマツ約90本がそそり立ち、往時の街道の風情を漂わせています。芭蕉句碑から約470m



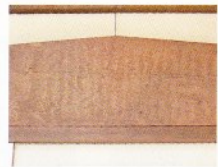
芭蕉句碑
松尾芭蕉が「こども三河 むらさき麦のかきつはた」と藤川の地を詠んだ俳句の碑があります。西棒鼻から約180m



西棒鼻
宿場の西の入り口を示しており、歌川広重の師匠、浮世絵師歌川豊広の歌碑が設置されています。むらさき麦から約50m



むらさき麦
芭蕉の句にちなみ、むらさき麦の栽培が再現されています。穂が色づく5月中旬が見ごろです。藤川宿脇本陣跡から約370m



高札
高札は掟や決まりを記して市場や辻に掲げた板札で、藤川宿資料館に展示されています。



藤川宿脇本陣 (藤川宿資料館)
江戸時代に本陣の予備として建てられた宿舎で、今は藤川宿資料館になっています。休館日 月曜日、年末年始 粟生人形店から約280m



粟生人形店
全国有数の腕の立つ職人が営む人形店。展示された人形から職人の粋が感じられます。TEL:0564-48-2155 休業日 5月~10月の土日曜日、年末年始 東棒鼻から約530m



東棒鼻
宿場の東の入り口を示したもので、浮世絵の東海道五十三次にも登場する藤川の象徴です。

「岡崎宿」二十七曲りめぐり

町並み・歴史・生活文化をたどる



岡崎市図書館交流プラザ Libra
館内に岡崎むかし館と内田修ジャズコレクション展示室があります。
お気軽にお立ち寄りください。
TEL:0564-23-3100



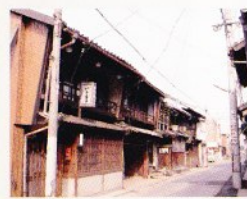
郷土館
かつては公会堂・物産陳列所であった洋風建築で、現在は岡崎の歴史を知ることのできる展示館になっています。
TEL:0564-23-1039
休館日 月曜日
(祝日の場合は翌日以降の休日でない日)、
祝日の翌日、年末年始



道標
二十七曲り沿線に残されている道標。



八丁蔵通り
岡崎城から西に八丁のところで生まれた八丁味噌。現在でも2軒の蔵元が味噌を作っています。
板屋町界隈から約500m



板屋町界隈
板屋町界隈は昔遊郭があった町ですが、当時の雰囲気は古い家屋が伝えるのみです。
唐弓弦の看板から約820m



唐弓弦の看板
唐弓弦とは、綿を打つ道具のこと。かつての三河木綿の産地の面影を伝えています。
岡崎信用金庫資料館から約1270m



岡崎信用金庫資料館
ルネッサンス様式の煉瓦造りの洋館で、世界の珍しい通貨や岡崎の経済の歴史などが紹介されています。
TEL:0564-24-2367
休館日 月曜日、祝祭日、年末年始
岡崎伝馬歴史プロムナードから約170m



伝馬町界隈
宿場町岡崎の中心となった伝馬町の町並みは東海道五十三次の中で一番の長さでした。



岡崎伝馬歴史プロムナード
東海道有数の宿場町であった伝馬の歴史を語る20基の石彫が並んでいます。
伝馬町の常夜燈から約250m



伝馬町の常夜燈
岡崎市内に残る最も大きな常夜燈。
欠町・二十七曲りの碑から約1240m



欠町・二十七曲りの碑
二十七曲りの出発点にあり、碑を見ると曲がり角の多い当時の街道がわかります。

「岡崎宿」は、本陣や脇本陣、旅籠の数から東海道五十三次の中でも屈指の規模を誇る宿場町でした。曲がり角の多い町並みは、「岡崎」二十七曲りと呼ばれ、欠町から伝馬通、材木町から八帖町、矢作橋へとつながる旧街道筋には、現在でも二十七曲りを示す碑が残されているほか、当時の面影を残す家屋や洋風建築の資料館など、現在に至るまでの岡崎の歴史を垣間見ることが出来ます。
©TCS全長・約4400m